

甲状腺刺激ホルモン(TSH)				1005500	
				担当部署	
TSH				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		負荷試験時や日内変動採血指示などの指示がある場合、指示通り			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		0.61～4.23μIU/mL エクルーシス試薬 TSH 試薬添付文書			
臨床判断値		設定なし			
基準値					単位
					μIU/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0.61	4.23	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		甲状腺刺激ホルモン(TSH)はαとβの二つのサブユニットからなる分子量 28.3kDa の糖蛋白である。視床下部ホルモンである TRH の分泌により刺激され、甲状腺ホルモンにより抑制を受ける。 TSHは甲状腺濾胞上皮細胞のレセプターに結合して、サイクリックAMPを介して甲状腺におけるヨード摂取、甲状腺ホルモンの分泌などを促進する働きをもつ。 三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 224 なお、2020/12/1 より本項目における結果値は国際調和化対応となる。			